突撃！インタビュー

衛星をつくるひと

今日は、NEC東芝スペースシステム株式会社
生産本部 AIT・運用部の柴崎智幸さんに
お話をうかがいます。柴崎さんは長野県出身、
日本電子専門学校を卒業し、NECに入社。
平成14年から現在の職場で働いていらっしゃいます。
小学校の頃はプラモデル作りが大好きだったという
『もの作りのプロ』です。
打上げを控えたALOSの、製作の裏話なども聞けるかな？
ではさっそくお話をうかがっていきましょう！

編集部（以下編）：柴崎さんが現在担当されているお仕事は？

柴崎さん（以下柴）：陸域観測技術衛星（ALOS）の製作や組立て、試験を行っています。ALOSはもうすぐ打上げ予定の大型衛星で、私はその衛星の組み立て屋･･･といったところです。

編：ALOSはどこで作られたのですか？

柴：ALOSはNEC東芝スペースシステム株式会社で初期の製作を行った後、筑波宇宙センターへ運ばれ、製作、組立てを行いました。その後、さまざまな試験を行っています。

編：試験にも関わるのですか？

柴：全ての試験の環境作りや準備を行っています。また、試験中や試験準備中は、衛星からの異常音がないか、外観に異変がないか等を監視したりしています。

編：現在のお仕事でどんなときにやりがいを感じますか？

柴：自分が組み立てた機器が、試験で問題がないことが実証され、衛星の形になった時です。特にALOSは非常に大きく、構造も複雑なので特殊な作業が多く大変でしたが、それを無事にやりおえた時などにとてもやりがいを感じます。例えば160本ものケーブルを設計書どおりに取り付けたときは「やった！」と思いましたよ。本物を触れるゆえの感覚だと思います。

編：現在のお仕事で苦労したお話を聞かせてください。

柴：機器取り付けのほとんどが、まるで蔦職人のような高所作業…。スケジュールがおしてくると、安全に気を配る余裕が無くなりそうになりますが、第一に人の安全、第二に衛星の安全と心に言い聞かせ、余裕を持って作業に当たるように心掛けています。

編：実際に宇宙へ行く人工衛星を扱うがゆえの苦労はありますか？

柴：人工衛星はとても高価な物なので事故のないように気を使います。事故を起こすと開発スケジュールが狂ってしまい、打上げにも影響してしまうことになるからです。人工衛星は移動させるときクレーンで吊り下げるのですが、その時は常に不安感があり、絶対失敗できない重圧を感じます。

編：柴崎さんが宇宙開発を志したきっかけはなんだったんですか？

柴：実は、特に宇宙関係の仕事を目指した訳ではなかったのですが、学校の経験を生かせる「物作り」に関係する会社はないかなと探していて今の会社に入りました。そこで宇宙という夢のある仕事に出会いました。今はこの仕事を続けたいと思っています。

編：今後会社でどんなことをやりたいですか？

柴：今はとにかくALOSの打上げに全力を向けているため、今後の事まで考えていませんが、ALOSの経験を生かし、自分がインテグレーション（製作や組立て）のリーダーとなって、人工衛星1機分を初めから打上げまで任せて貰えるようになりたいです。

編：宇宙開発をしていなかったら、今何をしていると思いますか？

柴：物作りが好きなので、やっぱりなにか作る仕事についていたと思います。ログハウスとか建ててみたいですね。

編：マイブームを教えてください！

柴：暑い中でテニスや野球をやって、その後、キーンと冷えたビールを飲むこと！冬はスノボもやります。マイブームというよりは、常に運動することが好きですね。

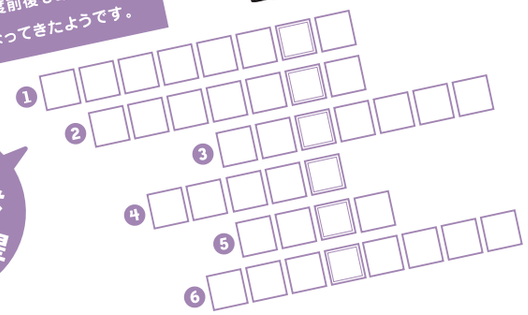
編：最後に読者へ一言お願いします！

柴：ALOSは筑波宇宙センターでの作業を5月の上旬に完了し、その後、種子島宇宙センターへ運ばれ、打上げ準備に入りました。みなさんALOSを暖かく見守ってください。必ず成功するように頑張ってきます。

Satellite Crossword? Puzzle

1から6までの答えをマスに書き入れ、ヨコのマスが全部埋まったら完成！
タテの二重マスをつなげて読むと、テーマにそったキーワードが…。

1. 通信を専門的に行うためにつくられた人工衛星は何？
2. ディスカバリー号に乗っていた日本人5人目の宇宙飛行士の名前は？
3. 人工衛星が地球の周りをまわり続けるために必要な二つの力は引力と何？
4. 人がつくって地球や惑星の周りを回るものを「○○○○○」と分類します。
5. 宇宙では太陽光の日なたと日陰の「○○○○」は200度前後もあります。
6. 最近では「○○○○○○○○」のツアーも夢ではなくなってきたようです。

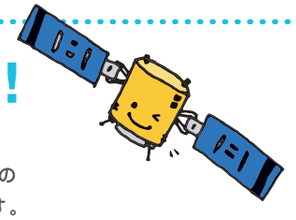


テーマは
沈まない星

こたえはコチラ！ → http://www.satnavi.jaxa.jp/magazine/

JAXA宇宙利用推進本部のホームページに、パズルの解答を掲載しています。ホームページでは、各キーワードについてさらに詳しい解説へのリンクも用意しています。ぜひご活用ください。
★このミニマガジンの最後のページにも、パズルのこたえがかくされています。探してみよう！

『サテ★カフェ』ファン大募集！



『サテ★カフェ』は、フリーペーパーです。毎回欠かさず読みたい！
学校・団体・お店に置いてみたい！というリクエストにお応えし、定期配布の受け付けもスタート。いまなら送料無料で『サテ★カフェ』をお送りします。
はがき、電話またはFAXにてお問い合わせください。

あてさきはこちらまで

〒305-8505 つくば市千現 2-1-1　宇宙航空研究開発機構
宇宙利用推進本部「サテカフェ編集室」
TEL:029-868-5090　FAX:029-868-5987
※ 住所・所属・氏名・電話番号を明記してください。

これまでに発行された
バックナンバーは、PDF形式で
ホームページでも公開しています。

編集後記 Editors Voice

もうすぐ「こだま」が打ち上がって3年。いわば「こだま」の3回目の誕生日がやってくる。･･･実はそれは私の誕生日と同日だったりする。だからこの衛星にはひときわ思い入れがあるのかなぁ。そんな「こだま」の特集が無事書きあがってホッと一息。さて、秋の旅行の計画でも立てよう。（森）